



烏野豌豆(からすのえんどう)
花言葉…絆

開花時期は、2月15日頃から5月10日頃。これより小さいものに、「雀野豌豆」(すずめのえんどう)がある。大きめのものに「烏」と名づけることが多い。また、実は熟すと黒くなることから黒→カラス、との連想で「烏」の名がついた、との説もある。春、若芽を天ぷらにするとおいしいそうです。

花のお便り

2010.2 No.45

E-mail : info@miyazaki-p.co.jp

http://www.miyazaki-p.co.jp/

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2
TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

2010年(平成22年)も、早や一ヶ月が経過。1月に東京都がおこなった「派遣村」では、職を失った800名以上の方が詰めかけた。やはり雇用の基本は「正社員」であろう。昔の派遣社員は、専門職のみだったが、近頃は製造業まで広げた結果、雇用側の都合で簡単に職も住居も失う若者が増えたのだろう。日本中が元気で働けるようにしたいものだ。



本の印刷・製本がキレイで安心価格

- どのような原稿でも引受けます。
(手書き原稿・データ入稿どちらでも)
- カラー印刷・モノクロ印刷どちらでも
- 少部数から大部数まで受注
(たとえ1部でもオンデマンド印刷機で)
- 本の仕様も
くるみ製本から上製本まで



読書量は世帯年収に比例する (出版文化産業振興財団アンケートより抜粋)

1ヶ月に読む平均冊数は「1冊」が29.2%、「1冊も本を読まない」が23.7%。1ヶ月に3冊以上読むのは、平均年収が1,500万以上の人が多く、40.5%、もっとも冊数が少ないのは300~500万未満の人で、22.6%という結果です。1ヶ月に1冊も本を読まない人の理由は、トップが「仕事、家事、勉強が忙しい」で38.1%、「読まなくても不便はない」が36.2%、「何を読んでいいのかわからない」が34.3%といずれも30%をこえた。

中高生に親の読書量の関連を見たところ親が「よく読む」と回答した人のうち読書を「好き」と回答した人は62.6%で、親が「まったく読まない」と回答した人のうち、読書が「好き」と回答した人は39.5%と親が本をよく読むほど、子どもが読書好きな傾向になることがわかった。

気まぐれエッセー

初詣は一年の始まり？

昔、西鉄ライオンズ(西武ライオンズの前身)に稲尾和久と言う投手がいた。巨人との日本シリーズで西鉄、3連敗の後、4連投で4連勝し、逆転優勝。当時の知将、三原修監督に「神様、仏様、稲尾さま」と言われた話を記憶している人は少なくないであろう。日本人は兎角、何かにすがりたい時(私も含め)叶えてはくれない事を知りながら「神様、仏様」と心の中で唱えてしまう。それ程信心深い人が多いとは思えないが、日本人はなぜか「お願い」

だけはしっかりとする。

今年も全国各地の神社、寺院、不動尊、大師、稲荷などでは様々な心のつぶやきが飛び交った事だろう。そう言う私も府中の大國魂神社へ初詣。参拝の時は心のつぶやきも少な目に、なぜか稲尾投手の顔が頭の片隅に浮かんでしまった。こんな不信心なことだから、帰りには孫と妻に服とバックを買わされる羽目に…。ちなみにおみくじは大吉でした。